



# インクルーシブ教育実践論

## Next ユニバーサル・デザイン

鳴門教育大学で出前連携授業を行いました！

開催日時：2026年1月28日(水) 16時20分～17時50分

実施方法：対面講義

講師：小川修史 (NUD LAB.代表)

担当：小倉正義教授 (鳴門教育大学)、岡村章司教授、小川修史教授

「インクルーシブ教育基礎論」の一部の授業「インクルーシブ・デザインについて考える：合理的配慮とユニバーサル・デザイン」を鳴門教育大学の大学院生約20名に対して実施しました。

授業は主として講義と対話活動によって構成され、受講者同士による3～4名程度の短時間の話し合いを複数回設けました。登壇者や担当教員からの問いかけに対しては、スマートフォンやPCから匿名で回答を投稿し、それを全体でリアルタイムに共有できるようにしました。ディスカッションでは鳴門教育大学の小倉正義先生にもご登壇いただきました。

事後アンケートでは、「思考する機会が多かったか」という問いに対しては、17名(94.4%)、「授業の満足度」についても17名(94.4%)が肯定的に評価しました。自由記述には、「対話の中でアイデアが生まれると感じた」「自分の意見から人がブラッシュアップしてくれたり、新たな発想を得たりできた」

「匿名で画面上に意見を挙げられるのは気楽でよかった」「他の人の意見を見

て、なるほどと思うことが多かった」といった記述が見られました。短時間の対話活動や匿名での投稿が、受講者にとって単なる参加形式ではなく、自分の考えを一度言葉にし、他者の視点に触れることで再構成する場として機能していたと示唆されます。その他に、「ユニバーサルデザインについて今までずいぶんかたく考えていたかも」「楽しいの感覚が大切だ」「支援者としてマジョリティ側の「してあげる」という押し付けになってしまう可能性があることに気付いた」といった合理的配慮やユニバーサル・デザインに関する気付きの意見もみられました。今後も、他の大学で展開可能な授業づくりを追求していきます。

